

## 試験学習の取り組み方 ～ 問題集の選び(上) 問題集の種類 ～

問題集を含め、参考書選びというのは、その後の学習成熟度を左右する試験合格に向けた最初の作業です。その受験生に適した参考書というのはその人の性格、特性、ライフスタイル、学習成熟度、試験までの日数などの要因で異なるものなので、「ご自身の性格や特性などを踏まえて、ご自身が良いなと思うもの、好きなものをよく考えて選んでください」と助言することがベストなのだろうと私は思います。

「そうは言われても何をかってよいか、よく分からない」という受験生のために、今回は問題集選びについて、提案させていただきます。まずは、ご自身に適した問題集の種類を探してみましょう。

書店で販売されている問題集をみると、だいたい過去問題集、模擬問題集、一問一答問題集、その他問題集という4つに分類できます。それぞれの特徴は以下のとおりです。

### ◆問題集の4類型◆

過去問題集	実際に行われた試験問題が掲載されている。試験学習には欠かせない一冊。
模擬問題集	試験形式に沿って受験する試験問題を予想して作成されている。法改正などの新しい内容が盛り込まれている。
一問一答問題集	どちらかというサブ教材。「問題→解答・解説」の一問一答式で構成されている。「すばやく理解する」「短時間で覚える」ことに有効な教材。
その他問題集	サブ教材。穴埋め形式など、試験問題と異なる形式の問題が掲載されているものが多い。問題を解くというよりは、その内容を覚えるということに重点が置かれやすい。

この特徴を踏まえて、ご自身の性格やライフスタイルなどと照らし合わせて、どのように学習していくかをイメージしながら「どの問題集を購入するのか」「何冊購入するのか」という部分を考えていきましょう!!!

参考までに、これまで実際に受けた質問をQ & A形式でいくつか例示します。

Q1 たくさん勉強はしたいけど予算的に1冊しか買えません。

☞基本的には「過去問題集」をお勧めします。ただし、試験1か月前程度の試験直前期の場合には「模擬問題集」の方が良いかと思えます。

Q2 自分が実際の試験でどの程度得点できるのかを見極めながら勉強したいです。問題集のほかにテキストなども購入します。

☞「過去問題集」+「模擬問題集」をお勧めします。両方とも繰り返し2回は解きましょう。

Q3 テキストは買いたくありません。問題集だけで合格したいです。

☞試験3か月以上前なら「過去問題集」+「その他問題集」をお勧めしますが、試験1か月前程度の試験直前期なら「模擬問題集」+「一問一答問題集」をお勧めします。

福祉試験対策工房&ぼぼ屋は、FacebookやInstagramも開設しています。

 @fukusitaisaku\_boboya

 fukusitaisaku\_boboya

★「いいね」「フォロー」大歓迎です！是非ご覧になってください★

